

平成19年度東北海区海況予報 第1号

平成19年4月27日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

<<今後の見通し(2007年4～6月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、南偏～やや南偏(35°N～36°N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並～やや北偏で推移する。
- (3)常磐沖の暖水塊は、近海に停滞する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並～やや北偏(39°Nまで)で推移し、三陸～常磐沖に冷水域が残る。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並～やや強勢(143°E付近まで)で推移する。

(海況の経過(2007年1月～2007年3月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、南偏(35°20'N以北)～やや南偏(35°50'N)で推移した。
- (2)鮫角沖の暖水塊は東へ移動し、1月に新たな暖水塊が黒潮続流から切離され常磐沖に停滞した。
- (3)親潮第1分枝の南限は、1～2月は平年並であったが、3月には観測範囲外になるほど北偏した。また、三陸～房総近海に冷水域が見られた。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、1～2月は強勢であったが、3月には弱勢となった。
- (5)表面水温は、東北海区全域で平年より1～2℃高かった。

(現況(2007年4月上旬～4月中旬)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、極めて南偏(35°N)である*。
- (2)暖水塊が鮫角沖約250km*と、常磐沖約300kmにある。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、北偏である(41°40'N)。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、やや強勢である(142°40'E)。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による